



皆さま、ご復活おめでとうございます。

2020年の春、私たちは一年で一番大切な主のご復活を、共に祝うことを断念せざるを得なくなりました。新型コロナウイルス感染症という未知の脅威にさらされ、不安や閉塞感、多くのストレスに苦しみました。

ほんの数か月の辛抱だろうと、当初誰もが思っていたでしょう。しかしこの苦しみは丸3年もの間、私たちを締め付けてきました。ようやく長いトンネルの先に光が見えてきましたね。

今年の復活祭は格別の感謝をもってお祝いしたいと思います。

この3年を含めて計4年間、私たちのために尽くしてきてくださった谷神父様が大宮教会を離れることとなりました。大変お世話になりました。神父様のご健康で、これらも神に守られてよい導き手として働かれますようお祈りいたします。

神に感謝。

+++++

典礼部 枝の主日の準備

4月1日(土)に翌日の枝の主日に備えて、枝の準備をしました。

司祭館前に植えているソテツの枝を刈り取り、ちょうどいい大きさに切り揃えました。

葉先がとがっているので、けがをしないよう注意して作業しました。

ミサの中で祝福して頂き、各自持ち帰ります。4月2日に参加できなかった方はロビーに置いてありますのでお持ち帰りください。



+++++

内容【典礼部】枝の主日の準備 【お祈りください】

【信徒委員会】トルコシリア地震寄付 パウロの家解体 【財務部】募集

【総務部】お知らせ【青少年養成部子ども会】お知らせ【ウエルカムグループ】お願い

【谷神父メッセージ】 【主によばれて(17)】

<信徒委員会・各委員会からのお知らせ>

- 4/ 8 (土) 18:30~ 復活徹夜祭ミサ (グループ制限なし) }
4/ 9 (日) 10:00~ 復活祭ミサ (") } どちらか一方に参加可能
4/16 (日) 主日のミサ **11:00~** (16日以降グループ制限なし)

- * 特別に連絡がない限り主日のミサは毎週日曜日 11:00~となります。
- * 都合により集会祭儀となることがあります。式次第をお持ちの方はご持参ください。
- * マスクの着用とアルコール消毒は引き続き行ってください。
- * 泣き部屋を使用できます。

+++++

<信徒委員会より>

- ・トルコシリア地震の寄付は 13 万 2000 円ほど集まり、カリタスさいたまを通してカリタスジャパンに送られます。
- ・パウロの家の解体工事が始まり 6 月末までパウロの家の前に車を駐車できません。

<財務部より>

財務部でご協力いただける方を 2 名募集いたします。

1 作業の内容

献金の集計、諸経費支払い、帳票・帳簿作成のいずれかを分担いただきます。

それぞれチーム編成になっていて、サポートしますのでご安心ください。

- #### 2 パソコンの導入を少しずつ始めていますので、パソコンの経験ある方、歓迎いたします。

<総務部より>

受付当番がいる時間は

毎週木曜日 10:00~12:00

毎週日曜日ミサ後 13:00 まで

(変更ありません。)

<青少年養成品 子ども会より>

初聖体勉強会のお知らせ

- ・対象：小学 4 年生 (新年度) 以上
- ・日程：初聖体 2023 年 11 月 26 日 (日)
勉強会 ① 6 月 25 日 (日)
② 7 月 30 日 (日)
③ 8 月 27 日 (日)
④ 9 月 24 日 (日)
⑤ 10 月 22 日 (日)
⑥ 11 月 25 日 (土)

*時間 ミサ開始 11:00~15:00 頃

*ミサには必ず参加すること

*勉強会は 6 回すべてに参加すること (やむをえず欠席の場合、振替をします)

◆希望する方は受付の申し込み用紙に必要事項を記載し、提出、日程表を受け取ること。

問合せ 青少年養成品 齊藤

<ウエルカムグループより>

5 月半ばからウエルカムのサービスを再開する予定です。その時に提供するインスタントコーヒーやティーパックの紅茶等、日持ちのする個包装のお菓子など、ご寄附頂けたら助かります。受付の所に箱を置きますので、お入れください。

大宮教会の皆さま、主のご復活、おめでとうございます。

ご存知の通り、2月にトルコ南東部とシリアにおいて、大地震が発生し、多くの被災者と50,000人以上の死者が出ました。現在、たくさんの被災者は寒い中、家のない状態で、援助を受けながら、生活を送っています。そのニュースを耳にした時、私たちは彼らに共感し、彼らのために何かをしなければならないと考えているのではないかと思います。私たちの小教区はカリタスさいたまの呼びかけに応えて、大地震の被災者のために、援助募金に協力しています。

全世界の教会と小教区と共に、復活祭をお祝いする私たちは、トルコ南東部とシリアにおける大地震の影響で亡くなった人々と被害を受けた人々のために、お祈りを神様にささげることが忘れないように心に留めておきましょう。お祈りを通して、私たちは同じ家である地球に住んでいる兄弟姉妹との関わりを具体的に示すことができるのです。

復活祭をお祝いする心を持つ私たちは、信仰の恵みを与えてくださった神に感謝いたしましょう。この恵みのおかげで、私たちは神の存在を見出し、洗礼を受けることによってイエスの弟子と小教区のメンバーとなりました。信仰は私たち自身の努力や能力で得られたものではなく、私たちに対する神の一方的な無償の愛で与えられたものです。言い換えれば、信仰は私たちへの神から与えられた霊的なプレゼントなので、私たちはそれを大切にしなければなりません。

復活の聖なる徹夜祭の火の祝福式において、司式司祭は復活のろうそくに火を灯す前に、次のようなことばを唱えます。

「キリストはきのうときょう、はじめと終わり、アルファとオメガ、時間も永遠も、かれのもの、栄光と支配はかれに、世々としえに。アーメン。」

教会は時間が神のものであり、神に完全に属するものであることを肯定します。神以外、誰も時間をコントロールすることができないことを私たちは認めざるを得ません。それを理解した私たちは、コロナの複雑な状況の中に置かれた私たちの共同体をいつも守り、私たちが小教区の聖堂に集まり、共に復活祭を祝う時間を与えてくださった神に感謝いたしましょう。コロナの影響で毎週の主日のミサにあずかれず、ご聖体の秘跡を通してイエスに出会えなくても、イエスは絶えず私たちのそばにおられ、同行してくださるに違いありません。私たちはそれが肉体の目には見えま

せんが、信仰の目で見出すことができたのではないかと思います。

聖書の中で、イエスの復活の知らせを受けて、喜んでいた婦人たちの姿が描かれています。イエスの受難と十字架の死に直面した弟子たちと婦人たちは悲しみと絶望の中に落ち込んでいました。しかし、現れた天使たちからイエスの復活という知らせを受けたとき、イエスの墓を見に行ったマグダラのマリアともう一人のマリアが恐れながらも大いに喜び、急いで帰り、「主の復活」を弟子たちに知らせました。

「婦人たちは、恐れながらも大いに喜び、急いで墓を立ち去り、弟子たちに知らせるために走って行った」(マタイ28・8)。

マタイ福音書によると、婦人たちは復活の喜びの最初の証人です。彼女らはその喜びを自分だけのものとせず、弟子たちにもたすように主の天使から招かれました。そして、彼女らのおかげで、弟子たちは復活の喜びにあずかれました。

洗礼を受け、イエスを自分の生活に招いた私たちも、弟子たちと同じく主の復活の喜びにあずかりました。復活の喜びにあずかった私たちは信仰生活の中でその喜びを兄弟姉妹に述べ伝え、それを分かち合うように呼びかけられています。復活の喜びは分かち合いの喜びであり、共感の喜びであり、希望の喜びであり、愛の喜びであります。絶望の中に落ちた弟子たちの悲しみに共感し、彼らに希望を与えるために、さらに彼らをよく愛されたからこそ、復活し、天に昇られる前に、イエスは弟子たちに何度も現れたのです。

復活祭を以て、大宮教会における私の任期が終了します。大宮教会における任期のあいだ、信徒委員会の方々をはじめ、共同体の皆さまがいつも協力してくださったことに、心から感謝いたします。どこに行っても、お互いのためにお祈りすることは最も大切なことだと思います。私たちは同じさいたま教区に属していますので、またどこかでお会いする機会がきっとあるでしょう。

どうぞ、良い復活節をお過ごしください。

2023年3月1日

カトリック大宮教会

主任司祭 谷 国定

† 主に呼ばれて (17) †

パースでバスに乗り、3日目の朝6時すぎにアデレードのバスターミナルに到着しました。この頃はまだインターネットがない時代、ホテル探しも大変でした。「地球の歩き方」というガイドブックを片手にホテル探しです。ガイドブックで見つけた、よさそうなホテルはダウンタウンの近くだったので、直接行って聞いてみました。

空いているとのことで、そのホテルに決めました。キッチン付きで二人で1泊80ドル(だいたい9千円)。日本だとチェックインが午後2時とか3時ですが、この時は朝から部屋を使わせてもらえました。キッチン付きだと、スーパーマーケットでいろいろ食材を買ってきて冷蔵庫に入れておけるので、とても気に入りました。

この時以降、家族で海外に行くときは基本的にはキッチン付きにしています。パンと卵やハム、ヨーグルト程度の朝食だったら部屋で食べられます。昼食や夕食だけはレストランに食べに行きますが、朝食はそれで十分です。もちろんコーヒーや紅茶は部屋に備え付けで置いてあります。オーストラリアのホテルにあるコーヒーや紅茶に使うミルクは、牛乳のポーションです。だいたい、30ccくらいの容器に入っていて使い勝手がいいです。

ミルクティーがポピュラーな飲み物なので、日本のようにコーヒーフレッシュではなく、牛乳のようです。紅茶も色が良く出るティーバッグで、ミルクティーにするとおいしいです。

アデレードは、オーストラリア大陸の南の真ん中にあるので、どこからも遠く、あまり観光地化されていません。街もあまり大きくないので、どちらかというと自然を楽しむ街という感じです。野生のカンガルーやコアラがいるカンガルー島に行きたかったのですが、ホリデーシーズンで飛行機は満席、船だと時間がかかりすぎるので諦めました。

アデレードの街を歩いたり、バロッサバレーというドイツ人が入植して、ぶどうを栽培し、ワイナリーがある古い町を訪れたりして楽しみました。

12月30日の夕方にアデレードを出発して、ウルル(エアーズロック)に向かいました。

アデレードから、一路北に向かいます。翌日のお昼ごろにバスを乗り換えて、2時過ぎにエアーズロックリゾートというエアーズロック観光の中心地に着きました。

ホテルのチェックインを済ませ、サンセット観光に向かいました。世界一大きな一枚岩とは聞いていましたが、本物を見ると圧倒される大きさでした。近くをバスでぐるっと1周して、夕日がきれいに見える場所で日が沈むときのエアーズロックを見ることができました。

翌朝は、エアーズロック登山をしました。元々アボリジニの聖地で、2019年からは登山は禁止となってしまいましたが、この時はまだ許されていて、急な斜面を鎖につかまりながら登ることができました。山とくらべると高くはないのですが、周りに高いものがないので、達成感は感じられました。

エアーズロックを午前中に出発して、パースに戻ります。とりあえずは、南下してアデレードの方に向かいますが、アデレードまで戻ると時間がかかってしまうので、途中パース方向への分岐点にあるオーガスタという町で、バスを乗り換えることにしました。

オーガスタには朝到着しました。そこで2時間ほど待つとパースに行くバスが来ます。パースに行くバスに乗り換えて、翌日の夕方パースに到着しました。荷物は飛行機のようにカウンターで預けます。乗り継ぎの際も、係の方が移動してくれるので、パースに着くまでは自分の荷物を気にする必要がありません。カウンターの近くで荷物が出てくるのを待っていると、私の荷物は出てきましたが、佳美の荷物が出てきません。しばらく待っていたのですが、終わってしまったようだったので、カウンターに行って、問い合わせると乗り継ぎのバスターミナルで、荷物を載せ忘れたとのこと。すぐ気付いたので、明日の便に載せたとのことでした。のんびりしていますが、次の日に荷物を受け取るまで必要なものを買う羽目になってしまいました。

見沼区 齊藤

🍀 おみや教会通信はカトリック大宮教会のHP (<https://catholic-omiya.net>) でご覧になれます。

* ご意見や投稿(本などの感想、特集してほしいことなど)を募集しています。

FAX か郵送で受け付けています

〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町2丁目350 FAX 048-641-2724

カトリック大宮教会 広報部宛

